

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

[事業の状況]

大阪成人病予防協会は、昭和35年2月の設立以来、成人病の予防、診断、治療に関するいろいろな事業を行ってきた。

現在は、定款に定める、成人病の予防、診断、治療の一助となるための①医学研究への助成、顕彰、臨床研究への助成、②啓発のための講演会、出版、③患者団体活動支援などの公益目的事業を実施し、大阪府民の健康の向上に貢献することとしている。

[事業の詳細]

1 医学振興助成事業 公益目的事業1

(1) 医学研究顕彰事業

成人病の予防、診断、治療に関し、優れた論文発表を行った研究者を顕彰することにより、大阪府内における、今後の医療活動の進展及び医療従事者の資質の向上を図るため、発表論文の顕彰を行うこととし、公募したところ34件の応募があった。

応募があった発表論文について、成人病医学研究助成・顕彰事業審査委員会（成人病医学研究顕彰及び助成審査委員会）の審査を経て、21件、2,100,000円を顕彰した。

（事業報告書明細1）

(2) 医学研究助成事業

成人病の予防、診断、治療に関する優れた基礎研究、臨床に役立つ優れた研究に支援することにより、大阪府内における医療活動の進展と医療従事者の資質の向上をはかるため、研究への助成を行うこととし、公募したところ7件の応募があった。

応募があった研究について、成人病医学研究助成・顕彰事業審査委員会（成人病医学研究顕彰及び助成審査委員会）の審査を経て、4件、2,500,000円を助成した。

（事業報告書明細2）

(3) 臨床研究助成事業（データセンター事業）

成人病の予防、診断、治療の臨床研究を促進し、医療技術の向上を図る優れた研究に対して、研究助成と技術支援（大量データを維持管理・データマネジメント構築）を行い、研究成果につなげることで医療活動進展及び医療従事者の資質の向上を図ることとした。

新規に、助成申請のあった研究課題を、臨床研究医学・倫理委員会（成人病臨床研究助成委員会

及び同倫理委員会)において審査し、1件を承認した。また、臨床研究医学・倫理委員会での審査を経て、新規、継続の臨床研究9件、8,300,000円を助成した。

技術支援として、①データマネジメントシステム(症例登録システムなど)の構築、②データ入力、集計、解析等を行っている。

(事業報告書明細3)

2 知識・医療方法の推進・啓発事業 公益目的事業2

(1) 公開講座事業

大阪府民を対象に、がんと循環器疾患の治療、予防の啓発、患者のQOL(生活の質)の向上等を中心とした成人病公開講座を4回開催し、706名の参加があった。また、北大阪地域成人病公開講座を開催し、57名の参加があった。

(成人病公開講座)

回数	開催年月日	テーマ	参加者
第76回	平成29年6月13日	最先端がん医療	206
第77回	9月12日	肉腫・骨転移	189
第78回	11月14日	がん患者さんのサポート最前線	123
第79回	30年2月13日	膵がんの全て	188
			706

(北大阪地域成人病公開講座)

回数	開催年月日	テーマ	参加者
第2回	平成29年12月10日	正しく知ろう、大腸癌のお話	57

(事業報告書明細4)

(2) 機関誌等印刷物の発行事業

ア 会報「成人病」の発行

会報「2017成人病Vo1.57」を発刊のための編集会議を開催し、題目、執筆者を決め、1,000部発刊し、会員、医療機関、保健所等に配布した。

(事業報告書明細5)

(3) その他

次の団体の啓発活動について後援した。

ア 大阪エイフボランティアネットワーク大会 平成29年6月13日

イ NPO 法人大阪がんええナビ制作委員会公開講座

「膵臓がん医療セミナー2017@大阪国際がんセンター」 平成29年10月1日

- ウ がん予防キャンペーン大阪 2017 平成 29 年 10 月 7 日
- エ 特定非営利活動法人ピンクリボン大阪 10 周年記念講演
「守りたい、あなたの笑顔 家族の笑顔」平成 29 年 12 月 22 日

3 成人病、地域医療活動助成事業 公益目的事業 3

患者会、患者やその家族を支援するグループが主体となって取り組む活動に助成を行うことにより、大阪府内における、成人病予防などの啓発を行うこととし、公募したところ、5 件の応募があった。

応募があった活動について、成人病患者団体活動支援事業審査委員会（成人病患者団体等支援審査委員会）の審査を経て、5 件、900,000 円を助成した。

（事業報告書明細 6）

4 会員及び寄付金等の確保

会員の確保、寄付金等のお願いをすることにより財源の確保に努めた。

(1) 会員の確保

平成 30 年 3 月 31 現在会員種類別、件数別、口数別、金額別一覧表

会員				経過措置会員			
会員種類	件数	口数	金額	会員種類	件数	口数	金額
法人	24	65	650,000	一般	12	12	24,000
個人	54	56	560,000	医師会	14	14	28,000
計	78	121	1,210,000	計	26	26	52,000

(2) 寄付金の確保

事業名	件数	寄付額 (円)
公益目的事業 1 医学研究顕彰・助成事業	12	692,096
公益目的事業 1 臨床研究助成事業	21	11,727,778
公益目的事業 2 公開講座事業	1	500,000
公益目的事業 3 成人病、地域医療活動助成事業	4	21,600

(3) 広告収入の確保

機関誌「成人病」への広告掲載収入 22 件 305,000 円

（事業報告書明細 7）

5 評議員会、理事会の開催状況

平成 28 年度の事業報告及び決算報告等、平成 30 年度の事業計画及び収支予算等審議のため理

事会及び評議員会をそれぞれ2回開催した。また、書面による理事会決議をした。

(1) 平成29年6月2日理事会

(議決事項)

- 平成28年度事業報告、計算書類等、財産目録及び同監査報告承認
- 会員に関する規程の一部改正
- 会計規程の一部改正
- 評議員会招集

(承認事項)

- 定款の一部改正
- 役員及び評議員の報酬等と費用に関する規程の一部改正
- 評議員候補者の承認
- 理事及び監事候補者の承認
- 代表理事(会長)、副会長及び常任理事候補者の承認

(2) 平成29年6月16日評議員会

(議決事項)

- 平成28年度事業報告、計算書類等、財産目録及び同監査報告承認
- 定款の一部を改正
- 役員及び評議員の報酬等と費用に関する規程の一部改正
- 評議員6名の選任
- 理事10名及び監事1名の選任

(承認事項)

- 代表理事(会長)、副会長及び常任理事候補者の承認

(3) 平成29年6月16日理事会のみなし決議

(議決事項)

- 代表理事(会長)、副会長及び常任理事の選定

(4) 平成30年3月9日理事会

(議決事項)

- 定款の一部改正
- 基本財産の一部及び価格変動対策積立金の全部処分
- 平成30年度事業計画書、収支予算書及び資金調達及び設備投資計画の承認
- 成人病医学研究助成・顕彰事業審査委員会、臨床研究医学・倫理委員会及び患者団体活動支援事業審査委員会委員の選任
- 評議員会の招集

(5) 平成30年3月16日評議員会

(議決事項)

- 定款の一部改正
- 基本財産の一部及び価格変動対策積立金の全部処分
- 平成30年度事業計画書、収支予算書及び資金調達及び設備投資計画の承認

(事業報告書明細)

1 平成29年度医学研究顕彰一覧表

申請者氏名	申請者所属機関	顕彰論文
(医師、研究者対象)		
1 今川 佑介	大阪国際がんセンター研究所分子細胞生物学部主任研究員	独自に開発した細胞死の生体染色法により同定した、マウス胚発生期の骨形成過程で観察されるAtg9a依存的新規ネクロシス型細胞死
2 木下 学	大阪国際がんセンター脳神経外科部長	WHOグレード2, 3グリオーマのMRI T2強調画像に対する高速自動画像解析システムの開発
3 田淵 貴大	大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部副部長	がん患者におけるがん診断時喫煙状況とその後の死亡の関連:タバコを止めるとどんな利益があるか?
4 小林 省吾	大阪大学大学院消化器外科学講師	肝細胞癌患者においてAFPmRNA陽性細胞が存在することの臨床的意義に関する検討
5 佐藤 友美	大阪国際がんセンター研究所生化学部門博士研究員	腫瘍組織由来スフェロイドを抗原として用いたCEACAM糖鎖を認識する接着阻害抗体の作製
6 多代 尚広	京都大学医学部附属病院消化管外科	In vivo および三次元初代培養法を用いたex vivo セツキシマブ感受性試験による大腸癌KRAS変異型症例の層別化
7 奥山 正嗣	市立柏原病院消化器内科部長	日本人における胃食道逆流症と心理的ストレス、睡眠障害との関連
8 高林 健介	枚方公済病院循環器内科医長	超高齢心不全患者の臨床背景と社会的フレイル(虚弱)の検討:北河内心不全レジストリ(KICKOFF Registry)からの検討
9 仲田 文造	市立柏原病院外科副院長	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下剥離術後の追加外科切除:中規模病院における経験
10 大島 和也	大阪国際がんセンター整形外科(骨軟部腫瘍科)副部長	治療介入後の歩行機能を予測する新規のMRI画像所見:がんの転移による脊髄圧迫の画像解析
11 安井 昌義	大阪国際がんセンター消化器外科副部長	静脈血栓塞栓症予防目的に抗凝固薬療法を施行した場合の周術期出血性有害事象発症リスク因子の比較検討~大腸癌に対する腹腔鏡下手術および開腹手術施行症例において~
12 木村 祐樹	国立循環器病研究センター重症心不全・移植医療部修練医	孤発性上腸間膜動脈解離の臨床経過と治療効果
13 杉村啓二郎	大阪国際がんセンター消化器外科医長	胃癌患者におけるリンパ節郭清前後での腹腔内洗浄液を用いたTRC診断の臨床的意義
14 和田 佑馬	徳島大学消化器外科医員	腹腔鏡下手術における消化管内病変位置確認のためのICタグ装填内視鏡用クリップと検出機器の開発
15 玉置 俊介	大阪急性期・総合医療センター心臓内科副部長	急性心不全で入院した拡張不全患者においてトルバプタンは腎機能悪化のリスクを低下させる -前向きランダム化比較試験-
(看護師、薬剤師、臨床検査技師、各種療法士等対象)		
16 橋田 直	大阪国際がんセンターリハビリテーション科言語聴覚士	舌切除後のサルコペニアの嚥下障害と舌萎縮に対するリハビリテーションと栄養介入

17	角川 幸男	大阪国際がんセンター薬局主査薬剤師	肝臓病教室における情報提供の効果と意義に関する検討
18	大平 新吾	大阪国際がんセンター放射線腫瘍科診療放射線技師	コーンビームCTによる金マーカを指標とした膵臓癌の治療期間中の体内動態解析
19	山口 要子	社会医療法人さくら会さくら会病院看護部看護師教育担当師長	回復期リハビリテーション病棟における朝の整髪が機能的自立度評価(FIM)に及ぼす効果
20	植田 有希	大阪はびきの医療センター薬局技師	アフアチニブによる下痢発現に影響を与えるリスク因子の後方視的検討
21	藤田 秀樹	大阪府済生会中津病院放射線治療技術部長放射線技師	全脳照射における不均一表面補償法による線量分布の改善

2 平成29年度医学研究助成一覧表

申請者氏名	申請者所属機関	研究課題	研究会名
1 高田 良司	大阪国際がんセンター肝胆膵内科診療主任	局所進行切除不能膵癌に対する導入ゲムシタビン+ナブパクリタキセル療法後にゲムシタビン併用化学放射線療法を行うシングルアーム第II相試験	切除不能膵癌治療研究会
2 谷口 善彦	国立病院機構近畿中央胸部疾患センター内科医員	EGFRチロシンキナーゼ阻害剤初回治療例における血漿浮遊腫瘍DNAを用いた遺伝子変異スクリーニングに適切な血漿分離条件検討の前向き観察研究	SPEED SEEKER
3 春名 能通	大阪急性期・総合医療センター消化器内科部長	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術(TACE)におけるビタミンK内服併用治療の有効性と安全性に関する検討	肝がん治療センター
4 伊藤 ゆり	大阪国際がんセンターがん対策センター主任研究員	がん登録資料を用いたがん生存解析に関する方法論と適用に関する研究	大阪がん生存解析研究会

3 平成29年度臨床研究助成一覧表

研究会名	代表者氏名	所属機関	研究課題
1 尿路性器癌の外科的治療向上を目指す会	西村 和郎	大阪国際がんセンター泌尿器科	局所進行性膀胱癌治療における周術期合併症およびQOL調査
2 大腸癌遺伝子研究会	三吉 範克	大阪国際がんセンター消化器外科	大腸癌患者の血液中エクソソームおよび遊離DNAを用いたバイオマーカー探索と治療効果予測についての検討
3 大腸癌肺転移治療研究会	大植 雅之	大阪国際がんセンター消化器外科	進行・再発結腸・直腸癌肺転移症例に対するXELOX+ペバシズマブ療法後の肺切除に関するPilot Study
4 大阪悪性リンパ種治療研究会	石川 淳	大阪国際がんセンター血液・化学療法科	髄液を用いたB細胞性非ホジキンリンパ腫の中樞神経再発予測因子の検討
5 肺再先端医療研究会	今村 文生	大阪国際がんセンター呼吸器内科	血液でのALK変異の検出の研究
6 悪性脳腫瘍に対するテララーメイド治療研究会	木下 学	大阪国際がんセンター脳神経外科	グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテララーメイド治療法の開発

7	家族性腫瘍研究会	玉木 康博	大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科	家族性腫瘍に対する遺伝学的検査の実施と 解析
8	抗血管新生治療研 究会	中山 貴寛	大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科	ホルモン陽性 HER2 陰性転移・再発乳癌を対象としたバクリタキセル+ ペニタズマブ 導入化学療法後のホルモン維持療法とホルモン療法+カ ペシタピン併用維持療法の無作為化第Ⅱ相臨床試験
9	大阪中央薬剤性皮 膚障害対策研究会	爲政 大幾	大阪国際がんセンター 皮膚腫瘍科	分子標的薬による皮膚障害の分子形態学的 検討

4 平成29年度成人病公開講座

第76回

演題	会場	開催日
新病院における最先端がん医療	大阪国際がんセンター 1階講堂	平成29年 6月13日(火)
1 プレシジョンメディシンによる最先端のがん薬物療法	大阪国際がんセンター 呼吸器内科主任部長	今村 文生
2 内視鏡を用いた最先端消化管がん医療	大阪国際がんセンター 消化器内科副部長	竹内 洋司
3 最先端の低侵襲がん手術 腹腔鏡下機能温存手術～ロボット支援手術	大阪国際がんセンター 消化器外科副部長	大森 健
4 最先端のがん放射線治療	大阪国際がんセンター 放射線治療科主任部長	手島 昭樹

参加者 206名

第77回

演題	会場	開催日
肉腫・骨転移	大阪国際がんセンター 1階講堂	平成29年 9月12日(火)
1 「稀少がん」肉腫 ～稀少だからこそ知っておくべき肉腫を易しく解説～	大阪大学医学部 整形外科助教	濱田 健一郎
2 がんの骨転移 ～気づけば身近に迫っている骨転移を分かり易く解説～	大阪国際がんセンター 整形外科副部長・リハビリテーション科部長	大島 和也
3 がんに適したリハビリ ～がんになったときにできるリハビリを解説～	大阪国際がんセンター リハビリテーション科理学療法士	加藤 祐司
4 がんに適したリハビリ ～生活と社会参加を考えたリハビリを解説～	大阪国際がんセンター リハビリテーション科作業療法士	谷口 小百合
5 肉腫・骨転移に必要なケア ～がんサバイバーとその家族にお伝えしたい生活援助と対策～	大阪国際がんセンター 11階なでしこ病棟緩和ケア認定看護師	田平 芳子

参加者 189名

第78回

演題	会場	開催日
がん患者さんのサポート最前線	大阪国際がんセンター 1階講堂	平成29年11月14日(火)
1 がん患者さんの「食」の療養について	大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科主任部長	飯島 正平
2 がんのリハビリテーション ～がんリハビリへの大阪国際がんセンターの向き合い方～	大阪国際がんセンター 整形外科(骨軟部腫瘍科) 副部長・リハビリテーション科部長	大島 和也
3 がん相談支援センター - 独りで悩まずご利用下さい -	大阪国際がんセンター がん相談支援センター副センター長	池山 晴人
4 看護外来とは - 看護の腕のみせどころ -	大阪国際がんセンター 看護部副看護部長	柳川 のり子

参加者 123名

第79回

演題	会場	開催日
膵がんの全て	大阪国際がんセンター 1階講堂	平成30年2月13日(火)
1 膵がんはどれだけ起きているのか？ 膵がんを予防するには？	大阪国際がんセンター がん対策センター免疫統計部副部長	田淵 貴大
2 膵がんセンターで可能になった 最新の抗がん剤治療	大阪国際がんセンター 消化器検診科副部長	井岡 達也
3 膵がんに対する外科治療 -手術と最新の集学的治療-	大阪国際がんセンター 消化器外科副部長	高橋 秀典

参加者 188名

第76回成人病公開講座から第79回成人病公開講座までのアンケート結果

成人病公開講座で取り上げて欲しいこと

- 182 (28.1%) 成人病の治療に関すること
- 163 (25.2%) 成人病の予防に関すること
- 152 (23.5%) 成人病の治療の予後に関すること
- 150 (23.2%) 成人病の検査に関すること

成人病公開講座の演題として取り上げて欲しい疾患

- 131 (8.2%) 肺がん
- 119 (7.4%) 膵臓がん
- 106 (6.6%) 大腸がん
- 89 (5.5%) 心臓の疾患
- 86 (5.4%) 前立腺がん
- 85 (5.3%) 生活習慣病
- 81 (5.0%) 乳がん
- 80 (5.0%) 脳血管の疾患
- 77 (4.8%) 脳腫瘍
- 73 (4.5%) 胃がん
- 64 (4.0%) 血液がん
- 63 (3.9%) 食道がん
- 57 (3.6%) 腎臓がん
- 55 (3.4%) 血管の疾患
- 54 (3.4%) 骨と軟部組織(筋肉や脂肪など)のがん
- 52 (3.2%) 肝臓がん
- 44 (2.7%) 甲状腺がん
- 38 (2.4%) 子宮体部がん
- 35 (2.2%) 胆嚢がん
- 35 (2.2%) 喉頭がん
- 33 (2.1%) 咽頭がん
- 33 (2.1%) 卵巣がん
- 32 (2.0%) 膀胱がん
- 27 (1.7%) 口腔がん
- 25 (1.6%) 子宮頸部がん
- 15 (0.9%) 尿管がん
- 11 (0.7%) 腎盂がん
- 5 (0.3%) 精巣がん

成人病公開講座の演題として取り上げて欲しい「がん」の治療方法等

- 283 (46.4%) 免疫療法
- 136 (22.3%) 抗がん剤治療
- 120 (19.7%) 放射線治療
- 71 (11.6%) 手術(外科治療)

成人病公開講座が開催されることを何で知ったか

- 174 (39.3%) 前回の受講時に申込み
- 152 (34.3%) 病院内チラシ
- 45 (10.2%) 新聞
- 35 (7.9%) ホームページ
- 33 (7.4%) 知人の情報
- 4 (0.9%) 郵送等

成人病公開講座の実施希望曜日

- 185 (42.8%) 平日
- 56 (13.0%) 土曜日、日曜日、祝日
- 191 (44.2%) 曜日にはこだわらない

受講者の男女別

- 171 (39.9%) 男性
- 258 (60.1%) 女性

受講者の年齢

- 0 (0.0%) 20歳未満
- 6 (1.3%) 20歳～29歳
- 12 (2.7%) 30歳～39歳
- 23 (5.1%) 40歳～49歳
- 69 (15.3%) 50歳～59歳
- 131 (29.1%) 60歳～69歳
- 172 (38.2%) 70歳～79歳
- 36 (8.0%) 80歳～89歳
- 1 (0.2%) 90歳以上

受講者の住居

- 180 (40.4%) 大阪市内
- 15 (3.4%) 堺市内
- 36 (8.1%) 三島地域(吹田、高槻、茨木、摂津、島本)
- 32 (7.2%) 豊能地域(豊中、池田、箕面、豊能、能勢)
- 27 (6.1%) 北河内地域(守口、枚方、寝屋川、大東、門真、四条畷、交野)
- 47 (10.5%) 中河内地域(八尾、柏原、東大阪)
- 16 (3.6%) 南河内地域(富田林、河内長野、松原、羽曳野、藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪)
- 10 (2.2%) 泉北地域(泉大津、和泉、高石、忠岡)
- 5 (1.1%) 泉南地域(岸和田、貝塚、泉佐野、泉南、阪南、熊取、田尻、岬)
- 2 (0.4%) 京都府
- 14 (3.1%) 奈良県
- 56 (12.6%) 兵庫県
- 6 (1.3%) 和歌山県

受講申込方法の希望

- 137 (23.1%) 電話
- 135 (22.8%) ウェブサイト
- 120 (20.2%) ファクシミリ
- 101 (17.0%) 郵便
- 100 (16.9%) 電子メール

地域成人病公開講座第2回

演題	会場	開催日
正しく知ろう、大腸癌お話し	大阪済生会千里病院災害棟4階講堂	平成29年12月10日(日)
1 大腸がんの予防と検診の「真実」	大阪国際がんセンター がん対策センター特別研究員	大島 明
2 早期発見と内視鏡治療	大阪済生会千里病院 消化器内科副部長	奥田 偉秀
3 生活の質を考えた外科的治療	大阪済生会千里病院 外科副部長	真貝 竜史

参加者 57名

地域成人病公開講座第2回のアンケート結果

成人病公開講座で取り上げて欲しいこと

- 22 (32.3%) 成人病の治療に関すること
- 20 (29.4%) 成人病の予防に関すること
- 15 (22.1%) 成人病の検査に関すること
- 11 (16.2%) 成人病の治療の予後に関すること

成人病公開講座の演題として取り上げて欲しい疾患

- 17 (8.6%) 膵臓がん
- 15 (7.6%) 心臓の疾患
- 14 (7.1%) 胃がん
- 13 (6.6%) 肺がん
- 13 (6.6%) 脳血管の疾患
- 10 (5.1%) 前立腺がん
- 10 (5.1%) 血液がん
- 10 (5.1%) 食道がん
- 10 (5.1%) 血管の疾患
- 7 (3.5%) 大腸がん
- 7 (3.5%) 脳腫瘍
- 7 (3.5%) 卵巣がん
- 6 (3.0%) 腎臓がん
- 6 (3.0%) 肝臓がん
- 6 (3.0%) 甲状腺がん
- 6 (3.0%) 胆嚢がん
- 6 (3.0%) 咽頭がん
- 6 (3.0%) 口腔がん
- 5 (2.5%) 乳がん
- 5 (2.5%) 骨と軟部組織(筋肉や脂肪など)のがん
- 5 (2.5%) 喉頭がん
- 4 (2.0%) 膀胱がん
- 3 (1.5%) 子宮体部がん
- 3 (1.5%) 子宮頸部がん
- 2 (1.0%) 腎盂がん
- 1 (0.5%) 尿管がん
- 1 (0.5%) 精巣がん

成人病公開講座の演題として取り上げて欲しい「がん」の治療方法等

- 26 (37.1%) 免疫療法
- 19 (27.2%) 抗がん剤治療
- 14 (20.0%) 放射線治療
- 11 (15.7%) 手術(外科治療)

成人病公開講座が開催されることを何で知ったか

- 18 (42.9%) ポスター、チラシ
- 6 (14.3%) 新聞
- 5 (11.9%) 広報誌
- 3 (7.1%) ホームページ
- 10 (23.8%) その他

成人病公開講座の実施希望曜日

- 6 (15.4%) 平日
- 22 (56.4%) 土曜日、日曜日、祝日
- 11 (28.2%) 曜日にはこだわらない

受講者の男女別

- 16 (42.1%) 男性
- 22 (57.9%) 女性

受講者の年齢

- 0 (0.0%) 20歳未満
- 0 (0.0%) 20歳～29歳
- 2 (5.3%) 30歳～39歳
- 4 (10.5%) 40歳～49歳
- 4 (10.5%) 50歳～59歳
- 10 (26.3%) 60歳～69歳
- 13 (34.2%) 70歳～79歳
- 5 (13.2%) 80歳～89歳
- 0 (0.0%) 90歳以上

受講者の住居

- 16 (40.0%) 吹田市
- 1 (2.5%) 茨木市
- 0 (0.0%) 摂津市
- 3 (7.5%) 豊中市
- 10 (25.0%) 大阪市内
- 0 (0.0%) 堺市内
- 1 (2.5%) その他三島地域(高槻、島本)
- 2 (5.0%) その他豊能地域(池田、箕面、豊能、能勢)
- 2 (5.0%) 北河内地域(守口、枚方、寝屋川、大東、門真、四条畷、交野)
- 0 (0.0%) 中河内地域(八尾、柏原、東大阪)
- 0 (0.0%) 南河内地域(富田林、河内長野、松原、羽曳野、藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪)
- 0 (0.0%) 泉北地域(泉大津、和泉、高石、忠岡)
- 0 (0.0%) 泉南地域(岸和田、貝塚、泉佐野、泉南、阪南、熊取、田尻、岬)
- 3 (7.5%) 京都府
- 0 (0.0%) 奈良県
- 1 (2.5%) 兵庫県
- 1 (2.5%) 和歌山県

5 2017成人病Vol.57通巻No.297

1 巻頭言

- 1-1 大阪国際がんセンターとしての新たな出発
地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌
- 2 特集:肝炎と肝細胞がん
- 2-1 肝炎と肝細胞癌医療の最前線
大阪国際がんセンター
副院長・臨床研究センター長 片山 和宏
- 2-2 肝炎治療の進歩は肝細胞がんの外科的治療
に変化をもたらしたか?
大阪国際がんセンター
消化器外科副部長 和田 浩志
- 2-3 肝炎の疫学と対策 -世界の動向-
大阪国際がんセンター
がん対策センター 田淵 貴大 宮代 勲
- 3 成人病相談Q&A
- 3-1 皮膚腫瘍化の役割 今、注目されている
分野としての抱負
大阪国際がんセンター
皮膚腫瘍科主任部長 爲政 大幾
- 3-2 栄養腫瘍科の役割 がん治療成績
の向上を目指して
大阪国際がんセンター
栄養腫瘍科主任部長 飯島 正平
- 3-3 大阪国際がんセンター
「がん相談支援センター」の現状
大阪国際がんセンター
がん相談支援センター副センター長 池山 晴人
- 4 トピックス
- 4-1 がんと新しい細胞死
大阪国際がんセンター
研究所主任研究員 今川 佑介
- 4-2 がん治療中の就労支援-当センターで
の取り組み
大阪国際がんセンター
放射線腫瘍科主任部長 手島 昭樹
- 4-3 免疫チェックポイント阻害剤の適用拡大
-効果と副作用-
大阪国際がんセンター
腫瘍内科 大塚 倫之
- 4-4 PET/CTによる右側結腸癌の診断
森ノ宮クリニック
特任所長 高見 元敏、所長 細木 拓野
放射線科 渡辺晋一郎、技術部副部長 橋口 元
- 5 随筆
- 5-1 がんセンターにおける美術展示
大阪国際がんセンター 名誉総長 堀 正二
- 5-2 くすり?サプリメント?食品?~本当に必要?~
大阪国際がんセンター 薬局長 坂上 嘉浩
- 5-3 元気マラソンチーム
大阪国際がんセンター 形成外科部長 栗田 智之
-がん患者とともにマラソンを-

6 平成29年度成人病患者団体活動支援一覧表

	団体名	団体の代表者	団体の所在地
1	特定非営利活動法人ピンクリボン大阪	富尾 貴美代	泉南郡熊取町
2	大阪肝臓友の会	原井川 英司	大阪市西区
3	がん患者さんと走ろう会	栗田 智之	大阪府中央区
4	NPO法人がんと共に生きる会□	佐藤 愛子	大阪市北区
5	どうするBOKS	江川 浩司	大阪市北区

7 平成29年度機関誌「成人病」への広告掲載収入一覧表

	広告掲載者	広告料(円)	備 考
1	アストラゼネカ株式会社	25,000	A4版表紙裏
2	第一三共株式会社	20,000	A4版04頁全面
3	大日本住友製薬株式会社	10,000	A4版09頁下半面
4	日本化薬株式会社	10,000	A4版13頁下半面
5	協和発酵キリン株式会社	10,000	A4版14頁上半面
6	大正富山医薬品株式会社	10,000	A4版14頁下半面
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	20,000	A4版15頁全面
8	大鵬薬品工業株式会社	10,000	A4版17頁下半面
9	中外製薬株式会社	20,000	A4版22全面
10	サノフィ株式会社	10,000	A4版23頁上半面
11	東和薬品株式会社	10,000	A4版23頁下半面
12	堀井薬品工業株式会社	10,000	A4版26頁下半面
13	久光製薬株式会社	10,000	A4版31頁下半面
14	医療法人大道会	20,000	A4版38頁全面
15	MSD株式会社	20,000	A4版39頁全面
16	興和創薬株式会社	10,000	A4版40頁上半面
17	ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社	10,000	A4版40頁下半面
18	アステラス製薬株式会社	10,000	A4版41頁上半面
19	日本イーライリリー株式会社	10,000	A4版41頁下半面
20	株式会社モノマル	25,000	A4版裏表紙裏
21	小野薬品工業株式会社	25,000	A4版裏表紙表

305,000